

近畿建設リサイクル表彰	優 秀 賞
受 賞 者	西松建設株式会社 西日本支社 北幹南福井出張所 北陸幹第3号南福井高架新設他工事
受 賞 テ ー マ	「3R」で進める「地方創生」（北陸新幹線・高架新設工事における環境負荷低減に対する取組み）

**【取組概要】**

北陸新幹線（高崎起点423k700m、福井駅南付近）の延長L=289mのうち、鋼管ソイルセメント杭73本（RC橋脚39本、ラーメン高架橋34本）RC橋脚4基、ラーメン高架橋3連、PCT桁3連（L=30m）、RCT桁5連（L=10~12m）他の工事である。

**①建設汚泥の減量化【Reduce】**

鋼管ソイルセメント杭の施工時に発生した「建設汚泥」について、専用のピットを整備し固化させたうえで排出することにより、703m<sup>3</sup>を減量した。（固化前）3,111m<sup>3</sup> → （固化後）2,408m<sup>3</sup>

**②がれき類の削減【Reduce】**

ポンプ車によるコンクリート打設時に使用する先行モルタルを「先行材（モレステ：Mortar Less Technology）」へ変更することで、廃棄物を大幅に（18トン）削減した（全工期で約86トン削減予定）。

**③木くずの削減【Reduce】**

技術提案により、PCT桁を現場製作からセグメント化（工場生産）することにより、木製型枠廃材の発生ゼロを実現した（1,519m<sup>2</sup> 約28トン）。

**④掘削土の埋戻利用【Reuse】**

掘削土は必ず仮置きヤードで一旦保管し、埋戻土として漏れなく再利用することにより、建設発生土の搬出を最低限に抑える（2,753m<sup>3</sup>再使用）。

**⑤仮設材の転用【Reuse】**

社内の北陸地域の現場間で構築した「北陸地区現場ネットワーク」で、常に仮設材の余剰・過不足の情報を共有し、現場間でやりくりするなど、仮設材の繰り返し使用を推進している。

**⑥建設汚泥の自ら利用【Recycle】**

福井市環境廃棄物対策課に相談のうえ、許可を得て「建設汚泥（2,352m<sup>3</sup>：再資源化率49.4%）を埋戻土として利用した。

**⑦コンクリートの有効利用【Recycle】**

コンクリート打設時に発生する余剰コンクリートに「改良剤（残コンバスター）」（65トン予定）を添加・固化後、品質確認のうえ、適宜作業ヤードの砕石として使用した。

**⑧廃棄物の分別【Recycle】**

専用の分別BOXや、再分別を目的とした「？（はてな）」BOX（社内ルールで義務化）を設置し、徹底したリサイクル活動を展開している。分別ヤードには自社製作の大型横断幕を掲示し、環境意識の啓蒙に努めている。

**【評価ポイント】**

- ・地元業者との対話を重要視。対話から情報を得た「地元福井市生コン圧送業者開発の3R関連商品」を採用し、発生抑制や再資源化を促進
- ・建設汚泥の減量化（703m<sup>3</sup>）及び大量の自ら利用（2,352m<sup>3</sup>：再資源化率約50%）
- ・建設発生土の自ら利用（2,752m<sup>3</sup>）



コンクリート打設時に使用する先行材を変更することで残コン削減



打設時に発生する余剰コンクリートに「改良剤」添加・固化後、適宜作業ヤードの砕石として使用